

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	がん転移リンパ節解析による肝内胆管癌再発予防ターゲットの探索 [倫理審査受付番号：第 号]
研究責任者氏名	廣野 誠子
研究機関長名	兵庫医科大学長 野口 光一
研究期間	研究実施許可日 ～ 2025 年 12 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：肝内胆管癌 / 診療科名等：肝胆膵外科
	受診日：西暦 2012 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	☒ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☐ その他（ ）
	取得の方法： ☒ 診療の過程で取得 ☐ その他（ ）
研究目的・意義	目的） 肝内胆管癌において、所属リンパ節に癌の転移があった患者さんは、残念ながら手術をうけた後に高率に再発をきたし予後が悪いことが分かっています。しかしながら、その確固たる理由はまだ解明されていません。そこで、癌の転移のあるリンパ節と転移のないリンパ節を詳細に比較検討し、再発の原因となる因子を見つけ出し、新しい治療法につなげたいと考えています。 （意義） 本研究によって術後再発を予防する新たな治療標的を見出すことができれば、肝内胆管癌の予後改善に寄与できるだけでなく、ほかの癌種への治療応用に貢献する可能性があります。
研究の方法	2012 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに当科で手術を受けた肝内胆管癌患者さんの切除標本を用いて癌転移のあるリンパ節と転移のないリンパ節を抽出し、 ・ HE 染色によって解剖学的組織構造の違いを評価する。 ・ 免疫組織染色によってリンパ節の構成因子である T リンパ球、B リンパ球、樹状細胞、マクロファージ、線維芽細胞の組成の違いについて比較する。

	・ 免疫チェックポイント分子シグナルにおける抑制性シグナルの発現を免疫組織染色や Proximity ligation assay を用いて評価する。 ・ 癌領域浸潤リンパ球の多い症例(Hot tumor)と少ない症例(Cold tumor)における所属リンパ節の比較を行う。 上記実験により着目すべき因子と細胞を同定し、さらにはその因子の発現と予後との関連について評価します。また患者さんのカルテ情報も使用します。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：肝胆膵外科 担当者氏名：藤 浩明 [電話] （平日午前 9～午後 4 時）0798－45－6582 （上記時間以外） 0798－45－6583